

# 営大通信

第 46 号

令和 3 年 3 月 26 日

発行 青森県営農大学校興農会  
会長 小川 広徳  
青森県営農大学校後援会  
会長 工 藤 優美子

青森県上北郡七戸町字大沢48-8  
TEL 0176-62-3111

## 令和 2 年度卒業式

3月6日、令和2年度卒業式を挙行し、畑作園芸課程19名、果樹課程12名、畜産課程5名、合計36名が2年間の学業を終え営農大学校を巣立ちました。

新型コロナウイルスの影響で、昨年と同様に規模を縮小した形式で行われましたが、三村知事をはじめ来賓や保護者の御臨席のもと、卒業証書及び学生表彰の各賞が授与されました。



佐々木校長の式辞

佐々木校長から、「社会情勢の変化に適応しながら、常に夢と希望を持ち続け、新たな分野、新たな取組に果敢に挑戦して欲しい」と式辞がありました。

と式辞がありました。

在校生を代表して畑作園芸課程の加藤雄己さんからは、卒業生に対して感謝とエールの言葉が、卒業生代表の畑作園芸課程の佐々木歩菜さんから、「生活を共にし協力し合った仲間、これまで支援してくれた保護者への感謝の気持ちを忘れることなく、地域社会に貢献できるよう努力していく」と誓いの言葉がありました。

卒業生は、社会人としてそれぞれの道を歩みますが本校で学んだことや仲間を大切に、大いに活躍することを期待しています。



卒業生代表の言葉  
(佐々木歩菜さん)

### 各賞受賞者

- 知事賞 畑作園芸課程 佐々木 歩菜
- 校長賞 畑作園芸課程 千葉 森之介、果樹課程 鳴海 竜聖、畜産課程 祐川 来
- 功労賞 果樹課程 丸岡 さくら、畜産課程 今 永久、中村 桃音
- 精励賞 畑作園芸課程 蛭沢 大貴、果樹課程 相馬 礼旺、大道 尚輝、藤田 紘己、畜産課程 蝦名 朔弥
- 皆勤賞 畑作園芸課程 菊地 京亮、果樹課程 大道 尚輝、鳴海 竜聖、藤田 紘己、畜産課程 今 永久
- 全国農業大学校協議会長賞 畜産課程 中村 桃音
- 東日本農業大学校等協議会長賞 畑作園芸課程 大川 雄輝、山田 大陽
- 農業大学校同窓会全国連盟会長賞 畑作園芸課程 村元 洸大
- 東日本農業大学校等同窓会連盟会長賞 畑作園芸課程 橘 佳祐
- 青森県農業経営士会長賞 畑作園芸課程 佐々木 元気
- 興農会長賞 果樹課程 加藤 雅也、畜産課程 中村 桃音
- 後援会長賞 畑作園芸課程 栗山 隆宏、果樹課程 齋藤 倫太郎、松森 大樹、畜産課程 祐川 来

卒業生進路状況

(単位：人)

就 農		就 職			合 計
		雇用就農	農業関連企業	その他	
6	30	6	18	6	36

## 校内プロジェクト発表会・意見発表会

コロナ禍での開催となった今年度は、出席者のマスク着用、会場の換気・消毒等の対策を徹底した上で、令和2年12月23日・24日に営農大学校体育館で開催しました。

「プロジェクト発表の部」では、2学年36名がテーマを決めて1年間取り組んできた研究の成果を発表しました。今年度の研究課題は、本県農業が抱える課題解決に向けて、機械メーカーや地場企業等と連携した取組も多く、表やグラフ、写真のみならず、時には動画なども駆使しながら、初めて聞く方にも分かりやすく伝えていました。

一方、「意見発表の部」では、1学年3名が農業に対する熱い想いを発表しました。また、今回発表をしなかった1学年も、司会進行やタイムキーパー、パソコン操作等の役割をこなし、2学年をサポートしていました。

審査の結果、プロジェクト発表の部では最優秀賞1課題、優秀賞2課題、努力賞3課題が選ばれ、意見発表の部では、最優秀賞、優秀賞、努力賞各1課題が選ばれました。



図を用いて分かりやすく説明



各賞受賞者の面々

### ＜プロジェクト発表受賞者＞

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	畜産	中村 桃音	酪農家における法人としての新たな副収入の提案
優秀賞	果樹	丸岡 さくら	ぶどう「シャインマスカット」の上部支梗を用いた省力栽培の検討
	畜産	今 永久	子牛段階の効果的な調教方法の検討
努力賞	畑作園芸	山田 大陽	営大産にんじんを使った『売れる加工品』の試作
	畑作園芸	大川 雄輝	ほうれんそう収穫機によるほうれんそう栽培の軽労化
	畜産	祐川 来	糖原性エネルギー飼料補給による乳牛の暑熱対策の検討

### ＜意見発表受賞者＞

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	加藤 雄己	将来行いたい農業経営について
優秀賞	果樹	中野 大翔	フルーツ王国に生まれた私
努力賞	畜産	足沢 飛翔	私の夢

## 東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会

令和2年度の東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、質疑応答なしの記録動画方式により開催されました。

本校からは校内プロジェクト発表会・意見発表会の最優秀賞と優秀賞受賞者5名（1学年2名、2学年3名）が発表を行い、審査の結果、本校学生は惜しくも入賞を逃しました。

1学年には、次年度の入賞を目指して、プロジェクト学習に取り組んでほしいです。



プロジェクト発表・意見発表の様子

## 6次産業化コースの取組

本年度から地域の6次産業化を担う人財を育成するため、農畜産物の加工技術や商品設計、マーケティングに基づく販売等を学ぶ、6次産業化コースを開設し、本年度は、畑作園芸課程3名、果樹課程1名、畜産課程2名の合計6名の学生が選択しました。

学生たちは校内に整備した加工実習室や（地独）青森県産業技術センター弘前工業研究所等での実習を通して加工技術を身に付けるとともに、外部講師の先生方や県内で6次産業化に取り組む生産者の方からマーケティングの考え方等を学びました。

プロジェクト学習では「にんじんの規格外品を利用した加工品作り」や、「出身地のPRとなるような加工品作り」といったテーマを設定し、関係団体からの情報収集、消費者ニーズ調査、試作品の評価、テスト販売を通して、各学生が商品を作り上げました。

また、営大祭では学生が商品アイデアを出し合い、学んだ技術を活かして「パンプキンパイ」や「りんごのメレンゲクッキー」等を作り販売したところ、あっという間に完売し、好評でした。

「営大の加工品」を皆様に知っていただくとともに、営大の名物となるような商品を開発することがこれからの課題です。



企業での情報収集



直売所でのテスト販売

## 営農大学校にロボットトラクタなどのスマート農業機器が導入

農業での人手不足は、大きな課題であり、ロボットやIoTなど先端技術を取り入れた「スマート農業」の導入と利活用による生産対策の必要性が一層高まっています。併せて、最新のテクノロジーに対応できる優れた人財の育成が求められています。

これまで本校でも、地域農業の中核的担い手となる農業経営者及び農業を支える多様な人財の育成を進める中で、農機具メーカーの協力によりスマート農業の授業や実演を実施してきました。しかし、実際の実習作業での利用はまだ行われていなかったため、今年度、国庫事業を活用し、新たに無人運転が可能なロボットトラクタや農業用ドローンなどのスマート農業に対応した機械とおうとうの省力化が可能な低樹高栽培雨よけハウスを導入しました。

今後は、導入した機械・施設を活用し、スマート農業やおうとうの省力栽培技術を実践できる学生の育成に努めていきます。



ロボットトラクタ



農業用ドローン



気象等観測装置



自動草刈機



おうとう用雨よけハウス（低樹高栽培 655.2 m<sup>2</sup>）

## ヤンマー学生懸賞論文優秀賞受賞

「第31回ヤンマー学生懸賞論文・作文」の論文の部において、畜産課程1年澤田安梨菜さんの『持続可能な畜産経営を目指して～アフターコロナに対応した新しい畜産のかたち～』が全国応募総数44編の中から、見事優秀賞を受賞しました！

この論文は、これまでの畜産、主に乳牛、肉用牛の課題を明らかにした上、新型コロナウイルスの影響で浮き彫りになった問題を整理し、日本の畜産をどのようにして、未来につなげていけるのかを提案するとともに、私たちの進むべき“うし道”について明らかにしています。

実家の酪農経営に、新たに和牛の繁殖経営を取り入れたいという夢に向かい、頑張っています！



受賞後記念品とともに

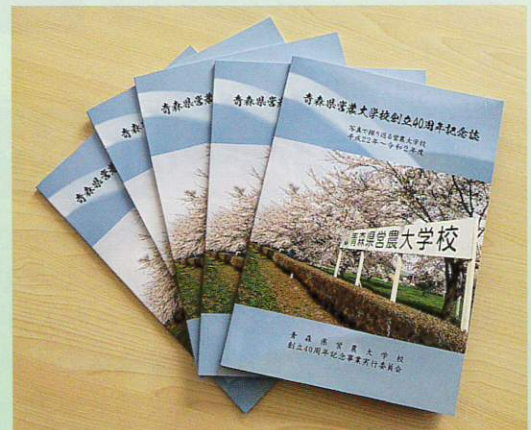


農場での澤田さん

## 営農大学校創立40周年事業について

青森県営農大学校は、昭和55年4月に創立され、令和2年3月で栄えある40周年を迎えることができました。しかしながら、当初、開催予定であった記念式典及びフォーラムについては、新型コロナウイルスと学校改修工事の関係でやむを得ず中止とすることとなり、感謝状は郵送で贈呈しました。その他事業として、記念誌を発行して過去10年間の歴史を振り返るものとなりました。

今回は、事業内容を大幅に縮小したことから、支出を最小限に抑え、10年後の記念すべき創立50周年事業に繰り越すこととしました。創立50周年事業は盛大に行ってみたいと思います。



作成した記念誌

## 校舎改修工事の進捗状況について

現在、本校では、10年程度先を見据えた機能強化の方向性について提言された「営農大学校ランドデザイン（2013年）」に基づき、「営農大学校機能強化アクションプログラム」を策定し、時代のニーズに即した学校運営のため、平成30年度から老朽化した施設等の再整備を行っています。平成30年度には、男子寮の改修工事が完了し1人部屋になりました。令和元年度には、旧寮を解体しました。令和2年度には、管理研修棟（職員室、教室等）の改修工事が完成しました。

現在は、令和4年2月の改修工事完了を目指し、生活棟（食堂、厨房及び男子風呂）の改修工事を行っています。



改修工事後の校舎



1人部屋になった男子寮